

別記様式第5号

国産乳製品等競争力強化対策事業の事業評価票

- 1 事業実施主体名：ニセコチーズ工房有限会社
- 2 事業実施期間：H30年 ～ R1年
- 3 補助額（事業費）：1,026,825円（2,217,942円）

4 事業内容

これまで容器器具の洗浄を手作業で行っていたが、食缶洗浄機を導入して洗浄作業の35%削減を図った。このローコストオペレーションで捻出した時間をニセコ地区のインバウンド需要に対応して1年以上熟成したハードタイプのナチュラルチーズの製造時間に充て製造量の増加を図った。

5 成果目標の達成状況

	生乳取扱量 (トン/日)	製品目・年間製造量					年間製造経費 (千円)	年間製造経費 (千円)/年間製造量(トン)	対現況比	年間販売額 (千円)	対現況比	備考
		ハード①	ハード②	ブルー	モzzarella	その他ソフト						
現況値 (H29年度)	0.258	3.3 ^{トン}	2.6 ^{トン}	1.9 ^{トン}	0.4 ^{トン}	1.8 ^{トン}	28,380	2,838	100%	52,983	100%	
目標値 (R1年度)	0.319	3.4 ^{トン}	3.8 ^{トン}	2.1 ^{トン}	0.4 ^{トン}	1.8 ^{トン}	32,453	2,822	99.4%	62,000	117%	
実績 (R1年度)	0.263	3.9 ^{トン}	4.2 ^{トン}	2.3 ^{トン}	0.3 ^{トン}	1.8 ^{トン}	32,539	2,603	91.7%	68,003	128%	

6 農政局長等の総合所見

製造コスト及び年間販売額は設定した目標値を上回っていることから、目標以上の成果を達成していると評価する。

別記様式第5号

国産乳製品等競争力強化対策事業の事業評価票

1 事業実施主体名：株式会社 Fattoria Bio Hokkaido

2 事業実施期間：H30年 ～ R1年

3 補助額（事業費）：3,250,000円（7,020,000円）

4 事業内容

経営戦略上、商品ラインナップの増加・歩留まり率の改善を目指して、品質の高い水牛のチーズ（ブッフアラ）を製造・販売する計画の元、イタリアの伝統的な製法にのっとったブッフアラを製造しようと本事業を活用して現地イタリアの機械を購入しました。その結果、輸入チーズと比較して競争力のあるチーズの試作製造、テストマーケティングを実施し、品質の高いチーズの製造及び販売を開始した。

5 成果目標の達成状況

	生乳取扱量 (トン/日)	製造品目・ 年間製造量		年間製造経費 (千円)	年間製造経費(千円) /年間製造量(トン)	対現況比	年間販売額 (千円)	対現況比	備考
		フレッシュ	熟成						
現況値 (H29年度)	1.47	25.68t	27.64t	92,548	1,736	100%	140,867	100%	
目標値 (R1年度)	2.0	40.8t	45.6t	131,048	1,517	87%	199,468	142%	
実績 (R1年度)	1.97	36.0t	42.0t	118,380	1,518	87%	165,630	118%	

6 農政局長等の総合所見

年間販売額は目標を下回ったものの、10%以上の増加は達成できていることからおおむね目標どおりの成果を達成したと評価する。

別記様式第5号

国産乳製品等競争力強化対策事業の事業評価票

- 1 事業実施主体名：株式会社花畑牧場
- 2 事業実施期間：H30年 ～ R1年
- 3 補助額（事業費）：18,075,000円（39,042,000円）

4 事業内容

モzzarellaを中心としたナチュラルチーズの生産性向上と規模の拡大のため、チーズの製造設備(ストレッチャー(モzzarella製造機械)、チーズバット、生乳殺菌タンク)を導入。新たな機械の導入により、1日あたりの生産数の増加、製造コストの低減を図った。

5 成果目標の達成状況

	生乳取扱量 (トン/日)	製造品目・年間製造量			年間製造経費 (千円)	年間製造経費(千円)/年間製造量(トン)	対現況比	年間販売額 (千円)	対現況比	備考
		モzzarella	ラクレット	その他チーズ						
現況値 (H29年度)	18.6	モzzarella	ラクレット	その他チーズ	1,340,000	2,000	100%	1,914,286	100%	
		180トン	240トン	250トン						
目標値 (R1年度)	24	モzzarella	ラクレット	その他チーズ	1,555,200	1,800	90%	2,541,000	132%	
		252トン	312トン	300トン						
実績 (R1年度)	28	モzzarella	ラクレット	その他チーズ	1,938,000	1,900	95%	2,850,000	149%	
		640トン	180トン	200トン						

6 農政局長等の総合所見

計画に即した取組が行われたが、製造コストが目標-10%であるところ、-5%で未達成となっていることから、目標達成に必要な改善計画の作成を求める。

別記様式第6号

加工施設再編等緊急対策事業のうち乳業工場機能強化事業の事業評価票

- 1 事業実施主体名：よつ葉乳業株式会社
- 2 事業実施期間：平成28年度 ～ 令和元年度
- 3 補助額（事業費）：182,907,223円（404,249,113円）

4 事業内容

ハード系熟成チーズのみからソフト系チーズ等も加える製造転換に必要なチーズ前処理設備の廃棄及び整備を実施した。
製造転換にあたり、一度にハード系熟成チーズの製造を中止できないことから、当面はハード系熟成チーズ・ソフト系チーズ等を製造しつつ、徐々にソフト系チーズ等の製造量を増加させる必要がある。しかしながら、複数品種の製造を行う場合、中間洗浄により製造能力が低下する等、効率的な製造に支障をきたすおそれがある。このため、具体的には既存の製造設備の一部を廃棄するとともに、複数品種の効率的な製造が可能となるように十分な能力を有する設備として殺菌機、UF膜濃縮設備、標準化装置等を整備した。

5 成果目標の達成状況

対象工場における製造ライン転換後の品目の年間製造量（トン）

ライン転換後の品目	現況値	目標値	実績	備考
	平成28年	令和元年度	令和元年度	
ソフト系チーズ	481 (0)	981 (500)	855 (374)	成果目標は増加量で設定したため括弧内は増加量とした。

6 評価

- A : 目標以上の成果を達成
- B : おおむね目標どおりの成果を達成
- C : 目標未達

注：A～Cのいずれかに○を付けること。

7 農政局長等の総合所見

計画に即した取組が行われたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による需要の減少等により、事業計画と比較して生産量が減少し、成果目標が未達成であるため、目標達成に必要な改善計画の作成を求める。